

かざね
四万十の風音

しんせん
森&川だより



ジャケツイバラの花（堂ヶ森）

「西土佐藤ノ川ヒノキ仙人の森」中学生「堂ヶ森登山」



堂ヶ森（遠望）

四万十市立西土佐中学校では、今年度から、「地域の自然や文化、歴史に興味関心を持つための学習」地域の魅力発見の場として、自然や歴史のある堂ヶ森に全校生徒が登山することになり、当センターが案内役として同行し森林環境教育を実施してもらいたいとの要請がありました。

5月10日、全校生徒45名と引率教員10名で新入生歓迎登山を実施しました。

当日は素晴らしい晴天に恵まれ、開会の挨拶後、準備運動をしてから登山道沿いのイスノキやユズリハ、マツなどの樹木を観察しながら、遠くに見える鬼ヶ城山系の^{やまなみ}山脈や西土佐で一番高い山「横の森（標高1,200m）」を眺めたり、往還道^{おうかんどう}や前地藏など歴史の学習や山頂に上るにつれてアカガシ、

ヤブツバキ等の照葉樹林（常緑広葉樹）からモミ、ツガ等の針葉樹林、イヌシデ、ウリハダカエデ等の落葉広葉樹林が混成する四万十川流域の貴重な天然林への移り変わりをつぶさに観察しつつ、木々の新緑や鳥のさえずりを聴き、豊かな郷土の自然を楽しみながら、約90分で堂ヶ森山頂（857m）に到着しました。

山頂では「堂ヶ森の由来」や「女相撲」などの伝統行事の説明を聞き、山頂の堂ヶ森風景林の観察や眼下に蛇行する四万十川や四万十市街を眺望したりしました。

下山途中には、天然ヒノキの群落や森の巨人たち百選にも選ばれている「四万十の檜仙人^{ひのきせん にん}」の大木を目の当たりにしました。

生徒達は、江戸時代から約3百年という長い年月を経て現存する天然ヒノキの雄大さ、まこと、地域の宝にみんな大変驚いていました。

下山後は西土佐藤ノ川ヒノキ仙人の森駐車場で昼食のあと、「森林のはたらき」「ニホンジカの食害や獣害対策」などの説明を受け、天然ヒノキの群落内の天然ヒノキの身体測定と表して、木の高さや胴回りの測定を体験しました。

終わりに、生徒の代表から、「前まで知らなかった山のこと、木のこと、動物たちのことなど、今回の山登りを通して新たな発見がいろいろあって、とても良い経験になりました。」との感想がありました。

なお、帰る途中、杖ヶ尾^{つえ お}林道沿いの森林軌道^{い こう}の遺構を見学させることもでき、当センターとしても学校の要請に応えることができた良い一日でした。



四万十の檜仙人



四万十の檜仙人



堂ヶ森山頂の樹齢5百年のヤブツバキ



堂ヶ森山頂のシャクナゲ



堂ヶ森山頂でアカガシの巨木を観察



堂ヶ森風景林の自然散策の様子



堂ヶ森の歴史や由来等を説明の様子



四万十の檜仙人で巨木群を観察



天然ヒノキの身体測定の説明の様子



ジャケツイバラの花を背景に集合写真

滑床の豊かな自然、すばらしさを体感（松野東小学校）

6月1日、愛媛県松野町立松野東小学校全校児童30名が滑床溪谷（足摺宇和海国立公園内）で、「森とも登山」を実施しました。森とも登山は2年毎の学校行事で、特に今回は創立30周年の大事な節目とのことです。

今回も学校から要請があり、案内役として同行し森林環境教育を実施することになりました。

行きは、万年橋から雪輪の滝まで、溪谷右岸の遊歩道沿いの樹木を学習しながら清流と滑らかな岩肌がつくり出す多彩な変化や森林の緑、自然の美しさ雄大さに触れました。

雪輪の滝では滑らかな大きな岩肌を流れる水が、まるで雪の輪のような波紋を残しながら落下する様を目の当たりにしました。

帰りは、左岸の滑床林道を下りながら、ネイチャーゲームの「フィールドビンゴ（木の実やぬけがら、動物など自然の宝ものを探すビンゴゲーム）」を行ったり、「葉っぱジャンケン（葉っぱを使ってジャンケン遊びをすることで、葉っぱには色々な色や形・大きさなどの特徴があることに気づくゲーム）」などを行い、万年橋まで帰ってきました。

なお、午前中は地元のケーブルテレビが取材に来て、登山や活動の様子を撮影され、後日放映されました。

午後からは、遊歩道入口にある滑床アウトドアセンター万年荘近くで、同じく「カモフラージュ（擬態について学ぶ、人工物を探し出すゲーム）」を行いました。

最後は、万年荘で、ヒノキ板等を使用した、愛媛県のゆるキャラ「みきゃん」等をモチーフにしたキーホルダーやストラップ作り、森のかけら（スギ間伐材輪切り）を使用したペンダント作りの自由製作をしました。

終わりに、児童より、「いろいろなネイチャーゲームや体験が出来てとっても楽しかったです。滑床の美しい自然をこれからも大切にしていきたい。」とお礼の挨拶がありました。

後日、学校から、児童達の集合写真入りの素敵な感想文もいただき、職員一同、喜んだところです。

当センターとしても、今回の体験で、地元の自然がすばらしいものであることに気づき、自然や森林への興味や理解につながっていくものと考えています。



鳥居岩



出会滑



右岸の遊歩道で樹木学習の様子



森とも登山の様子（幽仙橋付近）



滑床林道でフィールドビンゴの様子



雪輪の滝（標高530m）に着いたよ



万年荘付近でカモフラージュの様子



滑床林道端で樹木の身体測定の様子



いろいろな葉っぱがあったよ



万年荘で木工クラフト製作の様子

児童達からいただいた感想文

四万十ふれあいセンターのみなさんありがとうございました!

梅とも登山 松野東小学校 2021.6.1

やまのぼり でたがき れいびき いいい てよかた す。ねん ねん	かがりばん がくわん こにまは いきたい ねん ゆしな	かきやん でらま 10にま てまのし からま ねんねん	たのし かた はん あつ あつ	いたる かた かた じょう つれま ねん	まはる あぶ あしが てま くり ねん	木のこ あま たか 1年 まは まは	ア ま わ あり まは	ま た ま ま ま	ま ま ま ま ま
まはる まは まは まは まは	まはる まは まは まは まは	まはる まは まは まは まは	まはる まは まは まは まは	まはる まは まは まは まは	まはる まは まは まは まは	まはる まは まは まは まは	まはる まは まは まは まは	まはる まは まは まは まは	まはる まは まは まは まは
まはる まは まは まは まは	まはる まは まは まは まは	まはる まは まは まは まは	まはる まは まは まは まは	まはる まは まは まは まは	まはる まは まは まは まは	まはる まは まは まは まは	まはる まは まは まは まは	まはる まは まは まは まは	まはる まは まは まは まは



大道マツの植生回復への取組み、アカマツ再生試験地の幼樹の成長調査を実施

高知県高岡郡四万十町大道の古屋山^{ふるややま}林木遺伝資源保存林（アカマツ保護林＝大道マツ：面積8.88ha、現存するアカマツは81本）内に、自然再生試験地を設け、ボランティア、教育機関等と連携、協働して「地かき処理や刈り出し等」の作業を平成16年度から実施しています。

試験地設定後9年目を経過した平成25年度には、幼樹が過密状態となったため本数調整を地域住民や地元自治体等ボランティアの協力により実施し、「大道マツ」の後継樹の育成に取り組んでいます。

また、試験地の周囲にはシカ防護ネットを設置して幼樹をシカ被害から守っています。

アカマツ再生試験地の概要

設置	平成16年10月
位置	高知県高岡郡四万十町大道
林小班	古屋山 ^{ふるややま} 国有林2060林班ち小班
面積	0.12ha（縦30m、横40m）
標高	580m
傾斜	35度
方位	北東

令和3年6月2日に、石垣英司四国森林管理局長を先頭に技術普及課と共同でアカマツ幼樹の成長調査を行いました。（今年度の取組みとして、地かき処理や刈り出し等により発生した幼樹の成長を見るため、試験地内に本数19本の標本木を設定し、毎年この時期に計測することとし、胸高直径と樹高を測定）

調査の結果、樹勢は旺盛で、平均直径10.11cm、平均樹高6.47mとなっていて、アカマツ幼樹（大道マツ後継樹）は順調に成長しています。



大道マツとアカマツ再生試験地（遠望）



昭和47年当時の大道マツ（四万十町在住の竹内氏提供）



大道マツの大木



大道マツの大木



アカマツ幼樹の樹勢を確認



胸高直径を計測

希少ツツジの開花状況調査を実施

四国森林管理局では、愛媛県南部に自生するトキワバイカツツジの開花状況調査を毎年行っています。

今年は、コロナ感染予防にも配慮しつつ開花の時期に合わせ石垣英司局長を先頭に計画課と共同で4月21日に調査を行いました。

調査は、予め定めた標準木の開花数・生長量を記録するもので、今年は花の数も例年以上の咲き具合で満開のタイミングでの調査となりました。

また、数年前の間伐により陽光もよく蕾を着ける木も少しずつ拡がりを見せています。

この時期には、ボランティアの方々にもパトロールの協力も頂いて保護されていますが、この周辺はニホンジカによる食害が続いており、当センターでは、平成24年からシカ食害防止ネットでトキワバイカツツジを単木保護すると共に定期的な巡視も行っています。

陽光を十分浴びたツツジは調査を重ねる度に山を染める淡い紫色は年々鮮やかになっている様に見えます。

今後とも関係者や愛媛森林管理署の協力も得ながら、この希少植物の生息環境が維持できるように継続的に取り組んでいきたいと考えています。



トキワバイカツツジ





開花状況調査の様子



開花状況調査の様子

シカ防護ネット柵のメンテナンスを実施しています。

滑床山国有林の植生回復のため、三本杭やその周辺の自然再生地に設置したシカ防護ネット柵は、令和2年度末で、累計面積9.25ha、延長5,620mとなっています。

シカ防護ネット柵の総延長が伸びるに連れ、台風や強風等によるネットへの倒木や積雪による雪の重みが原因で支柱が折れ、ニホンジカが防護ネット内に侵入して回復途上の植生を食害することがあることから、点検・補修（メンテナンス）作業が欠かせません。

今年度も定期的な点検・補修（メンテナンス）作業を実施しています。



シカ防護ネット柵点検の様子



シカ防護ネット柵点検の様子

四万十川流域スケッチ

四万十川流域の自然はコロナ禍でもいつもと変わらない姿を見せてくれました。当センターがある四万十市西土佐西ヶ方付近の早春のスケッチです。



旧西ヶ方小学校の桜(3月)



愛媛県境の山桜と菜の花(3月)



農林水産省 四国森林管理局
四万十川森林ふれあい推進センター
高知県四万十市西土佐西ヶ方586番地2
電話0880-31-6030 FAX 0880-31-6031

